

1 本会議審議経過

○平成22年1月18日(月)

開会 午前10時1分

日程第1 議席の指定

議長は、議員の議席を指定した。

特別委員会設置の件

本件は、議長発議により、災害に関する諸問題を調査し、その対策樹立に資するため委員20名から成る**災害対策特別委員会**、

沖縄及び北方問題に関する対策樹立に資するため委員20名から成る**沖縄及び北方問題に関する特別委員会**、

政治倫理の確立及び選挙制度に関する調査のため委員35名から成る**政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会**、

北朝鮮による拉致等に関する諸問題を調査し、その対策樹立に資するため委員20名から成る**北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会**、

政府開発援助を始めとする国際援助・協力に関する諸問題を調査するため委員30名から成る**政府開発援助等に関する特別委員会**、

消費者の利益の擁護及び増進等に関する総合的な対策を樹立するため委員25名から成る**消費者問題に関する特別委員会**を設置することに全会一致をもって決し、議長は、特別委員を指名した。

休憩 午前10時4分

再開 午後2時31分

日程第2 国務大臣の演説に関する件

菅財務大臣は、財政について演説をした。

国務大臣の演説に対する質疑は、延期することに決した。

散会 午後2時40分

○平成22年1月20日(水)

開会 午前10時1分

日程第1 国務大臣の演説に関する件(第2日)

尾辻秀久君、藤原正司君、松あきら君は、それぞれ質疑をした。

議長は、質疑が終了したことを告げた。

国際問題及び地球温暖化問題に関する調査の中間報告

本件は、中間報告を聴取することに決し、国際・地球温暖化問題に関する調査会長から報告があった。

散会 午後0時8分

○平成22年1月28日(木)

開会 午後4時1分

日程第1 平成二十一年度一般会計補正予算(第2号)

日程第2 平成二十一年度特別会計補正予算(特第2号)

以上両案は、予算委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつて、討論の後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成142、反対82にて可決された。

地方交付税法及び特別会計に関する法律の一部を改正する法律案(内閣提出、衆議院送付)

本案は、日程に追加し、総務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつた後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成221、反対7にて可決された。

雇用保険法の一部を改正する法律案(内閣提出、衆議院送付)

本案は、日程に追加し、厚生労働委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつた後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成150、反対75にて可決された。

散会 午後4時34分

○平成22年1月29日(金)

開会 午後3時31分

日程第1 国務大臣の演説に関する件

鳩山内閣総理大臣は施政方針に関し、岡田外務大臣は外交に関し、菅財務大臣は財政に関し、菅国務大臣は経済に関しそれぞれ演説をした。

国務大臣の演説に対する質疑は、延期することに決した。

散会 午後5時13分

○平成22年2月2日(火)

開会 午前10時1分

日程第1 国務大臣の演説に関する件(第2

日)

谷川秀善君、興石東君は、それぞれ質疑をした。

残余の質疑は、延期することに決した。

散会 午前11時55分

○平成22年2月3日(水)

開会 午前10時1分

日程第1 国務大臣の演説に関する件(第3日)

山口那津男君、岡田直樹君は、それぞれ質疑をした。

休憩 午前11時42分

再開 午後1時1分

休憩前に引き続き、松岡徹君、松村祥史君、鈴木陽悦君、亀井郁夫君、市田忠義君、山内徳信君は、それぞれ質疑をした。

議長は、質疑が終了したことを告げた。

散会 午後4時32分

○平成22年2月17日(水)

開会 午前10時1分

日程第1 国家公務員等の任命に関する件

本件は、押しボタン式投票をもって採決の結果、

会計検査院情報公開・個人情報保護審査会委員に小木曾國隆君、大塚成男君、早坂樽子君、労働保険審査会委員に平岡昌和君、坂本由喜子君、

運輸安全委員会委員長に後藤昇弘君、同委員に石川敏行君、首藤由紀君、品川敏昭君を任命することに賛成221、反対0にて全会一致をもって同意することに決し、運輸安全委員会委員に遠藤信介君を任命することに賛成214、反対7にて同意することに決した。

散会 午前10時4分

○平成22年3月10日(水)

開会 午前10時1分

平成二十二年度における財政運営のための公債の発行の特例等に関する法律案、所得税法等の一部を改正する法律案及び租税特別措置の適用状況の透明化等に関する法律案(趣旨説明)

本件は、日程に追加し、菅財務大臣から趣

旨説明があった後、大久保勉君、愛知治郎君、荒木清寛君がそれぞれ質疑をした。

国務大臣の報告に関する件(平成二十二年度地方財政計画について)

地方税法等の一部を改正する法律案及び地方交付税法等の一部を改正する法律案(趣旨説明)

以上両件は、日程に追加し、原口総務大臣から報告及び趣旨説明があった後、加賀谷健君、磯崎陽輔君、西田実仁君がそれぞれ質疑をした。

日程第1 過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律案(衆議院提出)

本案は、総務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成218、反対0にて全会一致をもって可決された。

散会 午後0時31分

○平成22年3月17日(水)

開会 午前10時1分

日程第1 平成二十二年度における子ども手当の支給に関する法律案(趣旨説明)

本件は、長妻厚生労働大臣から趣旨説明があった後、島田智哉子君、丸川珠代君、鰐淵洋子君がそれぞれ質疑をした。

散会 午前11時11分

○平成22年3月19日(金)

開会 午前10時1分

日程第1 公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律案(趣旨説明)

本件は、川端文部科学大臣から趣旨説明があった後、加藤敏幸君、義家弘介君、澤雄二君がそれぞれ質疑をした。

散会 午前11時11分

○平成22年3月24日(水)

開会 午後4時1分

裁判官弾劾裁判所裁判員、同予備員、裁判官訴追委員及び同予備員辞任の件

本件は、裁判官弾劾裁判所裁判員松田岩夫君、同予備員木村仁君、裁判官訴追委員吉田博美君、同予備員加納時男君の辞任を許可することに決した。

裁判官弾劾裁判所裁判員等各種委員の選挙

本選挙は、その手続を省略して議長の指名によること及び裁判官弾劾裁判所裁判員予備員の職務を行う順序は議長に一任することに決し、議長は、
裁判官弾劾裁判所裁判員に木村仁君、
同予備員に岩城光英君（第3順位）、
裁判官訴追委員に加納時男君を指名した。

日程第1 平成二十二年度一般会計予算

日程第2 平成二十二年度特別会計予算

日程第3 平成二十二年度政府関係機関予算

以上3案は、予算委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつて、討論の後、記名投票をもって採決の結果、賛成129、反対107にて可決された。

地方税法等の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

地方交付税法等の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

以上両案は、日程に追加し、総務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつて、討論の後、押しボタン式投票をもって採決の結果、第1の議案は賛成129、反対106にて可決、第2の議案は賛成226、反対8にて可決された。

平成二十二年度における財政運営のための公債の発行の特例等に関する法律案（内閣提出、衆議院送付）

所得税法等の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

租税特別措置の適用状況の透明化等に関する法律案（内閣提出、衆議院送付）

以上3案は、日程に追加し、財政金融委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつて、討論の後、押しボタン式投票をもって採決の結果、第1及び第2の議案は賛成128、反対106にて可決、第3の議案は賛成234、反対0にて全会一致をもって可決された。

散会 午後5時17分

○平成22年3月26日（金）

開会 午前10時1分

中央選挙管理委員会及び同予備委員の指名

本指名は、議長に一任することに決し、議

長は、

中央選挙管理委員会に伊藤基隆君、伊藤忠治君、鈴木恒夫君、神崎浩昭君、鳥居一雄君、

同予備委員に西川洋君、尾崎智子君、元宿仁君、山田秀樹君、小宮修二君を指名した。

国家公務員等の任命に関する件

本件は、押しボタン式投票をもって採決の結果、

人事官に原恒雄君を任命することに賛成210、反対7にて同意することに決し、

原子力安全委員会委員に代谷誠治君、

情報公開・個人情報保護審査会委員に小林

克巳君、名取はにわ君、遠藤みどり君、北

澤義博君、伊達規子君、中村晶子君、橋本

博之君、池田綾子君、村上裕章君、

公益認定等委員会委員に池田守男君、堀裕

君、北地達明君、時枝孝子君、門野泉君、

出口正之君、

公認会計士・監査審査会会長に友杉芳正

君、

同委員に廣本敏郎君、引頭麻実君、櫻井久

勝君、淵田康之君、田島優子君、根本直子

君、

中央更生保護審査会委員に宮本信也君を任

命することに賛成218、反対0にて全会一

致をもって同意することに決し、

原子力安全委員会委員に班目春樹君、

公認会計士・監査審査会委員に市川育義

君、坂本道美君、八木和則君、

日本銀行政策委員会審議委員に森本宜久君

を任命することに賛成210、反対7にて同

意することに決し、

公益認定等委員会委員に海東英和君を任

命することに賛成125、反対94にて同意す

ることに決し、

中央社会保険医療協議会委員に牛丸聡君を

任命することに賛成151、反対68にて同意

することに決した。

雇用保険法等の一部を改正する法律案（趣旨説明）

本件は、日程に追加し、長妻厚生労働大臣から趣旨説明があつた後、土田博和君、西島英利君がそれぞれ質疑をした。

日程第 1 外国為替及び外国貿易法第十条第二項の規定に基づき、北朝鮮からの貨物につき輸入承認義務を課する等の措置を講じたことについて承認を求めるの件（第173回国会内閣提出、第174回国会衆議院送付）

日程第 2 外国為替及び外国貿易法第十条第二項の規定に基づき、北朝鮮を仕向地とする貨物につき輸出承認義務を課する等の措置を講じたことについて承認を求めるの件（第173回国会内閣提出、第174回国会衆議院送付）

以上両件は、経済産業委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成216、反対0にて全会一致をもって承認することに決した。

日程第 3 関税法及び関税暫定措置法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、財政金融委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成208、反対7にて可決された。

日程第 4 裁判所職員定員法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、法務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成214、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第 5 在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、外交防衛委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成216、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第 6 市町村の合併の特例等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、総務委員長から委員会審査の経過

及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成209、反対7にて可決された。

日程第 7 平成二十二年度における子ども手当の支給に関する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、厚生労働委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があって、討論の後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成147、反対68にて可決された。

散会 午前11時31分

○平成22年3月31日（水）

開会 午後1時1分

環境影響評価法の一部を改正する法律案（趣旨説明）

本件は、日程に追加し、小沢環境大臣から趣旨説明があった後、広中和歌子君、有村治子君、加藤修一君がそれぞれ質疑をした。

日程第 1 北朝鮮当局によって拉致された被害者等の支援に関する法律の一部を改正する法律案（衆議院提出）

本案は、北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成227、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第 2 地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の一部を改正する法律案（衆議院提出）

本案は、災害対策特別委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成227、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第 3 株式会社日本政策金融公庫法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、財政金融委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成219、反対7にて可決された。

日程第 4 国の直轄事業に係る都道府県等の維持管理負担金の廃止等のための

**関係法律の整備に関する法律案
(内閣提出、衆議院送付)**

国土調査促進特別措置法及び国土調査法の一部を改正する法律案(内閣提出、衆議院送付)

以上両案(第2の議案は日程に追加)は、国土交通委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第4は賛成222、反対4にて可決、日程追加の第2の議案は賛成227、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第5 雇用保険法等の一部を改正する法律案(内閣提出、衆議院送付)

介護保険法施行法の一部を改正する法律案(内閣提出、衆議院送付)

以上両案(第2の議案は日程に追加)は、厚生労働委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第5は賛成150、反対77にて可決、日程追加の第2の議案は賛成227、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第6 放送法第三十七条第二項の規定に基づき、承認を求めるの件(衆議院送付)

本件は、総務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成227、反対0にて全会一致をもって承認することに決した。

日程第7 公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律案(内閣提出、衆議院送付)

本件は、文教科学委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつて、討論の後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成152、反対75にて可決された。

国立国会図書館法の規定により行政各部門に置かれる支部図書館及びその職員に関する法律の一部を改正する法律案(衆議院提出)

本件は、日程に追加し、議院運営委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつた後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成225、反対0にて全会一致をもって可決された。

果、賛成225、反対0にて全会一致をもって可決された。

参議院事務局職員定員規程の一部改正に関する件

本件は、議長発議に係る参議院事務局職員定員規程の一部を改正する規程案を可決した。

散会 午後2時30分

○平成22年4月2日(金)

開会 午前10時1分

議員辞職の件

本件は、若林正俊君の辞職を許可することに決した。

裁判官訴追委員予備員の選挙

本選挙は、その手続を省略して議長の指名によること及び裁判官訴追委員予備員の職務を行う順序は議長に一任することに決し、議長は、外山斎君(第4順位)を指名した。

日程第1 農業経営に関する金融上の措置の改善のための農業改良資金助成法等の一部を改正する法律案(内閣提出、衆議院送付)

本件は、農林水産委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成204、反対0にて全会一致をもって可決された。

散会 午前10時6分

○平成22年4月7日(水)

開会 午前10時1分

日程第1 地域主権改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律案、国と地方の協議の場に関する法律案及び地方自治法の一部を改正する法律案(趣旨説明)

本件は、原口国務大臣から趣旨説明があつた後、武内則男君、二之湯智君、山本番苗君がそれぞれ質疑をした。

散会 午前11時15分

○平成22年4月14日(水)

開会 午前10時2分

日程第1 常任委員長辞任の件

本件は、懲罰委員長藤井孝男君の辞任を許可することに決した。

常任委員長の選挙

本選挙は、その手続を省略して議長の名指によることに決し、議長は、懲罰委員長に浅野勝人君を指名した。

裁判官弾劾裁判所裁判員の選挙

本選挙は、その手続を省略して議長の名指によることに決し、議長は、佐藤昭郎君を指名した。

日程第2 社会保障に関する日本国政府とアイルランド政府との間の協定の締結について承認を求めるの件

日程第3 航空業務に関する日本国と中華人民共和国マカオ特別行政区との間の協定の締結について承認を求めるの件

以上両件は、外交防衛委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成221、反対0にて全会一致をもって承認することに決した。

日程第4 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出）

本案は、国土交通委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成221、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第5 刑法及び刑事訴訟法の一部を改正する法律案（内閣提出）

本案は、法務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成210、反対7にて可決された。

日程第6 小規模企業共済法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第7 中小企業倒産防止共済法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

以上両案は、経済産業委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成218、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第8 予防接種法及び新型インフルエンザ予防接種による健康被害の救済等に関する特別措置法の一部を改正する法律案（内閣提出）

本案は、厚生労働委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、討論の後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成150、反対67にて可決された。

散会 午前10時35分

○平成22年4月16日（金）

開会 午前10時1分

日程第1 医療保険制度の安定的運営を図るための国民健康保険法等の一部を改正する法律案（趣旨説明）

本件は、長妻厚生労働大臣から趣旨説明があった後、金子洋一君、南野知恵子君がそれぞれ質疑をした。

散会 午前10時48分

○平成22年4月21日（水）

開会 午前10時1分

日程第1 特権及び免除に関する日本国政府と国際移住機関との間の協定の締結について承認を求めるの件

日程第2 国際再生可能エネルギー機関憲章の締結について承認を求めるの件

以上両件は、外交防衛委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成228、反対0にて全会一致をもって承認することに決した。

日程第3 賃借人の居住の安定を確保するための家賃債務保証業の業務の適正化及び家賃等の取立行為の規制等に関する法律案（内閣提出）

本案は、国土交通委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成228、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第4 環境影響評価法の一部を改正する法律案（内閣提出）

本案は、環境委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、委員会修正案を賛成102、反対126にて否決、次いで原案は

賛成229、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第5 国民年金法等の一部を改正する法律案（衆議院提出）

日程第6 厚生年金保険の保険給付及び国民年金の給付の支払の遅延に係る加算金の支給に関する法律等の一部を改正する法律案（衆議院提出）

以上両案は、厚生労働委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成229、反対0にて全会一致をもって可決された。

散会 午前10時16分

○平成22年4月23日(金)

開会 午前10時1分

日程第1 国務大臣の報告に関する件（核セキュリティ・サミットへの出席等に関する報告について）

本件は、鳩山内閣総理大臣から報告があった後、山下八洲夫君、山本一太君、浜田昌良君がそれぞれ質疑をした。

日程第2 刑事に関する共助に関する日本国とロシア連邦との間の条約の締結について承認を求めるの件（衆議院送付）

日程第3 刑事に関する共助に関する日本国と欧州連合との間の協定の締結について承認を求めるの件（衆議院送付）

日程第4 刑を言い渡された者の移送及び刑の執行における協力に関する日本国とタイ王国との間の条約の締結について承認を求めるの件（衆議院送付）

以上3件は、外交防衛委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成200、反対1にて承認することに決した。

日程第5 国際受刑者移送法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、法務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成201、反対

0にて全会一致をもって可決された。

散会 午前11時16分

○平成22年4月28日(水)

開会 午前10時1分

日程第1 放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、文部科学委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成197、反対7にて可決された。

日程第2 大気汚染防止法及び水質汚濁防止法の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、環境委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成205、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第3 地域主権改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律案（内閣提出）

日程第4 国と地方の協議の場に関する法律案（内閣提出）

日程第5 地方自治法の一部を改正する法律案（内閣提出）

以上3案は、総務委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があつて、討論の後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第3は賛成120、反対86にて可決、日程第4及び第5は賛成199、反対7にて可決された。

散会 午前10時27分

○平成22年5月12日(水)

開会 午前10時1分

検察官適格審査会委員及び同予備委員の選挙

本選挙は、その手続を省略して議長の指名によることに決し、議長は、検察官適格審査会委員に脇雅史君、同予備委員に松山政司君（脇雅史君の予備委員）を指名した。

日程第1 所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国政府とシンガポール共和国

政府との間の協定を改正する議定書の締結について承認を求めるの件（衆議院送付）

日程第2 所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国政府とマレーシア政府との間の協定を改正する議定書の締結について承認を求めるの件（衆議院送付）

日程第3 所得に対する租税に関する二重課税の回避のための日本国とベルギー王国との間の条約を改正する議定書の締結について承認を求めるの件（衆議院送付）

日程第4 所得に対する租税及びある種の他の租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国とルクセンブルグ大公国との間の条約を改正する議定書の締結について承認を求めるの件（衆議院送付）

以上4件は、外交防衛委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成221、反対0にて全会一致をもって承認することに決した。

日程第5 金融商品取引法等の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、財政金融委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成222、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第6 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律等の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、国土交通委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成222、反対0にて全会一致をもって可決された。

日程第7 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

本案は、環境委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成221、反対

0にて全会一致をもって可決された。

日程第8 医療保険制度の安定的運営を図るための国民健康保険法等の一部を改正する法律案（内閣提出、衆議院送付）

日程第9 母体保護法の一部を改正する法律案（厚生労働委員長提出）

以上両案は、厚生労働委員長から日程第8については委員会審査の経過及び結果の報告、日程第9については趣旨説明があって、日程第8に対する討論の後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第8は賛成122、反対98にて可決、日程第9は賛成220、反対0にて全会一致をもって可決された。

散会 午前10時33分

○平成22年5月19日（水）

開会 午前10時1分

国家公務員法等の一部を改正する法律案（閣法第32号）、国家公務員法等の一部を改正する法律案（参第7号）及び幹部国家公務員法案（趣旨説明）

本件は、日程に追加し、仙谷国務大臣、本院議員秋元司君から順次趣旨説明があった後、姫井由美子君、岩城光英君、山下栄一君がそれぞれ質疑をした。

日程第1 脱税の防止のための情報の交換及び個人の所得についての課税権の配分に関する日本国政府とバミューダ政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（衆議院送付）

日程第2 所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国とクウェート国との間の条約の締結について承認を求めるの件（衆議院送付）

日程第3 原子力の平和的利用における協力のための日本国政府とカザフスタン共和国政府との間の協定の締結について承認を求めるの件（衆議院送付）

以上3件は、外交防衛委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第

1は賛成206、反対0にて全会一致をもって承認することに決し、日程第2及び第3は賛成199、反対7にて承認することに決した。

日程第4 公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律案(内閣提出、衆議院送付)

本案は、農林水産委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成206、反対0にて全会一致をもって可決された。

散会 正午

○平成22年5月21日(金)

開会 午前10時1分

国家公務員等の任命に関する件

本件は、押しボタン式投票をもって採決の結果、

国家公安委員会委員に山本剛嗣君、

公害等調整委員会委員に松森宏君、杉野翔子君、

日本放送協会経営委員会委員に浜田健一郎君、澤登久子君、竹中ナミ君、

労働保険審査会委員に中嶋士元也君、品田充儀君、

社会保険審査会委員に渡邊等君、

中央労働委員会公益委員に鹿野菜穂子君を任命することに賛成202、反対0にて全会一致をもって同意することに決し、

日本放送協会経営委員会委員に小丸成洋君を任命することに賛成196、反対7にて同意することに決し、

日本放送協会経営委員会委員に叶井真由美君を任命することに賛成151、反対53にて同意することに決し、

日本放送協会経営委員会委員に北原健児君を任命することに賛成157、反対47にて同意することに決した。

国立ハンセン病療養所における療養体制の充実に関する決議案(西岡武夫君外12名発議)

(委員会審査省略要求事件)

本案は、発議者要求のとおり委員会審査を省略し、日程に追加して議題とすることに決し、西岡武夫君から趣旨説明があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛

成198、反対0にて全会一致をもって可決された。

長妻厚生労働大臣は、本決議について所信を述べた。

地球温暖化対策基本法案(趣旨説明)

本件は、日程に追加し、小沢環境大臣から趣旨説明があった後、大久保潔重君、加納時男君、加藤修一君がそれぞれ質疑をした。

日程第1 エネルギー環境適合製品の開発及び製造を行う事業の促進に関する法律案(内閣提出、衆議院送付)

本案は、経済産業委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成186、反対7にて可決された。

日程第2 独立行政法人通則法の一部を改正する法律案(内閣提出、衆議院送付)

日程第3 戦後強制抑留者に係る問題に関する特別措置法案(総務委員長提出)

以上両案は、総務委員長から日程第2については委員会審査の経過及び結果の報告、日程第3については趣旨説明があつて、日程第2に対する討論の後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第2は賛成120、反対75にて可決、日程第3は賛成195、反対0にて全会一致をもって可決された。

散会 午前11時50分

○平成22年5月26日(水)

開会 午前10時1分

日程第1 国務大臣の報告に関する件(「宮崎県で発生した口蹄疫」に関する報告について)

本件は、赤松農林水産大臣から報告があった後、外山斎君、松下新平君、渡辺孝男君がそれぞれ質疑をした。

日程第2 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構法の一部を改正する法律案(内閣提出、衆議院送付)

本案は、経済産業委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成200、反対8にて可決された。

日程第3 排他的経済水域及び大陸棚の保全

**及び利用の促進のための低潮線の
保全及び拠点施設の整備等に関する
法律案（内閣提出、衆議院送付）**

本案は、国土交通委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成208、反対0にて全会一致をもって可決された。

**日程第4 PTA・青少年教育団体共済法案
（衆議院提出）**

本案は、文教科学委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成206、反対0にて全会一致をもって可決された。

**日程第5 児童扶養手当法の一部を改正する
法律案（内閣提出、衆議院送付）**

本案は、厚生労働委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成206、反対0にて全会一致をもって可決された。

散会 午前11時34分

○平成22年5月28日（金）

開会 午前10時1分

放送法等の一部を改正する法律案（趣旨説明）

本件は、日程に追加し、原口総務大臣から趣旨説明があった後、世耕弘成君、澤雄二君がそれぞれ質疑をした。

**日程第1 国際連合安全保障理事会決議第千
八百七十四号等を踏まえ我が国が
実施する貨物検査等に関する特別
措置法案（第173回国会内閣提出、
第174回国会衆議院送付）**

**日程第2 特定船舶の入港の禁止に関する特
別措置法第五条第一項の規定に基
づき、特定船舶の入港禁止の実施
につき承認を求めるの件（衆議院
送付）**

以上両件は、国土交通委員長から委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、日程第1は賛成128、反対61にて可決、日程第2は賛成189、反対0にて全会一致をもって承認することに決した。

口蹄疫対策特別措置法案（衆議院提出）

本案は、日程に追加し、農林水産委員長か

ら委員会審査の経過及び結果の報告があった後、押しボタン式投票をもって採決の結果、賛成190、反対0にて全会一致をもって可決された。

散会 午前10時49分

○平成22年6月4日（金）

開会 午後2時36分

日程第1 内閣総理大臣の指名

本件は、記名投票の結果（投票総数237、過半数119）、菅直人君123票、谷垣禎一君71票、山口那津男君21票、志位和夫君7票、福島みずほ君6票、舛添要一君6票、平沼赳夫君2票、渡辺喜美君1票にて、投票の過半数を得た衆議院議員菅直人君が指名された。

散会 午後2時55分

○平成22年6月11日（金）

開会 午後2時1分

日程第1 国務大臣の演説に関する件

菅内閣総理大臣は、所信について演説をした。

国務大臣の演説に対する質疑は、延期することに決した。

散会 午後2時41分

○平成22年6月15日（火）

開会 午前10時1分

元本院副議長秋山長造君逝去につき哀悼の件

本件は、議長発議により院議をもって弔詞をささげることに関し、議長は弔詞を朗読した。

**日程第1 国務大臣の演説に関する件（第2
日）**

林芳正君、山口那津男君は、それぞれ質疑をした。

休憩 午後0時19分

再開 午後1時31分

休憩前に引き続き、佐藤正久君、西田昌司君、市田忠義君、舛添要一君、福島みずほ君は、それぞれ質疑をした。

議長は、質疑が終了したことを告げた。

散会 午後4時31分